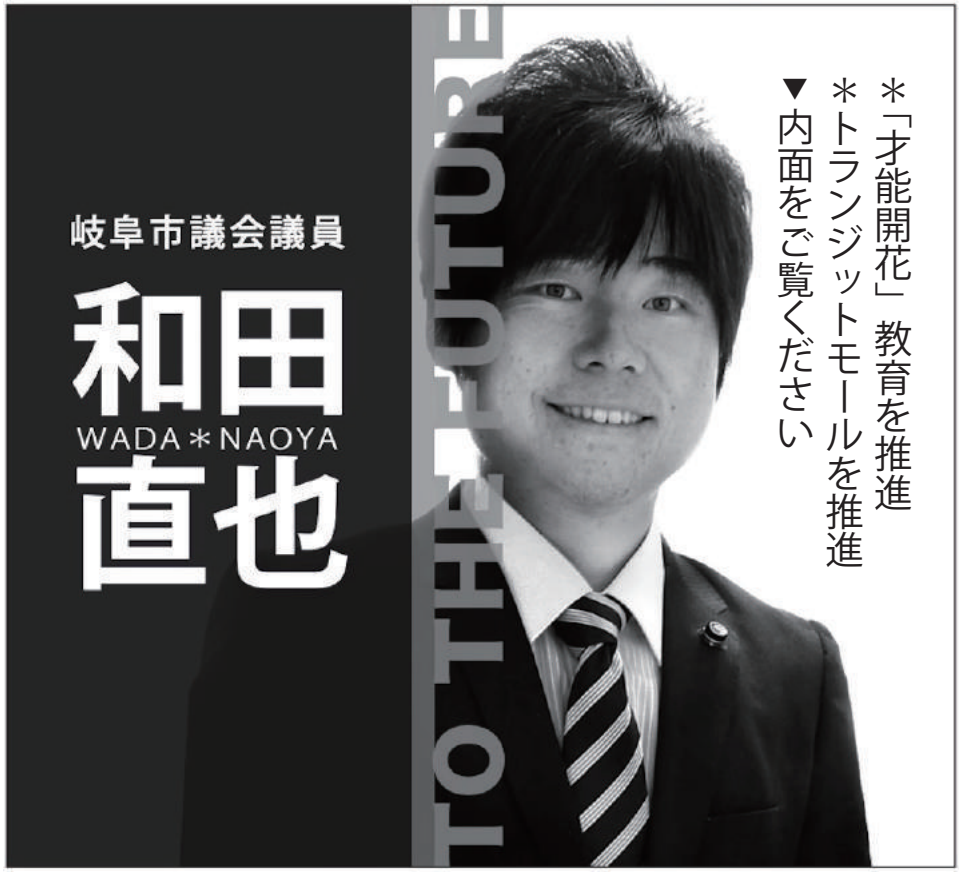
自由民主党

託して安心の即戦力！市議 和田直也 の 市政報告。

BLUE - SKY REPORT - - -

Vol. 72
2021年春号
きちんと市政＆議会報告《072号》



＊「才能開花」教育を推進
＊トランジットモールを推進
▼内面をご覧ください

和田直也公式 HP-QR

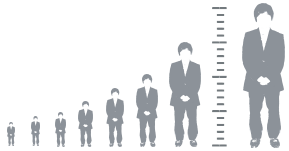
▼ 今月号＊特集（内面ご覧ください）

- 「才能開花」教育を推進！
- トランジットモール計画を推進！
- 保全すべき都市農地（生産緑地制度）
- 現庁舎跡地活用策が公表されました

編集・発行

岐阜市議会議員 和田直也 事務所

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1 善福寺ビル1F
TEL+FAX: 058-251-2638　E-mail: office@wada-naoya.jp



和田直也を大きくする会

YouTube

オンライン市政＆議会報告！発信中

市政＆議会報告会をダイジェストで発信しています

毎月開催 ＊ みんなの知恵を集める cafe ♪ ＆ 市政相談会

4月30日(金) 18:30-19:30

オンラインご参加は、記載日時に 右記 zoom QR より入室ください

5月22日(土) 18:00-19:00

＊毎月開催の「みんなの知恵を集めるカフェ」４・５月は新年度予算を中心にポイント解説します。同時にオープン市政相談会（市政に関すること何でも相談）を開きます。どなたでも気軽にご参加ください。なお、オンライン併用で開催します。リアル参加はメディアコスモスへ、オンライン参加は上記 QR よりご入室ください。

みんなの森 GIFU メディアコスモス「あつまるスタジオ」でお待ちしています！

昭和 55（1980）年 生まれ。岐阜幼稚園、木之本小（現 徹明さくら小）、本荘中、米国 Saratoga High School 交換派遣、県岐商国際コミ科、立命館大学法学部を経て立命館大学大学院法学研究科 前期博士課程を修了（法学修士）。2006 年岐阜市に戻り（株）HA テレコム並びに日本再生研究会（梶原拓元岐阜県知事）事務所で勤務、2007（平成 19）年の統一地方選で初当選（26 歳）、現在 4 期目。このまちの未来の声に応えるため、中長期的に政策構想します。

党派：自由民主党　会派：自民岐阜（副幹事長）政治団体：クラブ青空
所属：経済環境委（副委員長）議会運営委（委員）都市計画審（委員）

和田直也を大きくする会

〒500-8879 岐阜市徹明通 6-1-1 善福寺ビル1F
TEL+FAX: 058-251-2638　E-mail: office@wada-naoya.jp

Website　Twitter　Facebook　Instagram　LINE

Vol. 72
2021 年 春号
きちんと市政＆議会報告《072号》

毎月開催 ＊ みんなの知恵を集める cafe ♪ ＆ 市政相談会

4月30日 (金) 18:30-19:30

オンラインご参加は、記載日時に 右記 zoom QR より入室ください

5月22日 (土) 18:00-19:00

＊毎月開催の「みんなの知恵を集めるカフェ」４・５月は新年度予算を中心にポイント解説します。同時にオープン市政相談会（市政に関すること何でも相談）を開きます。どなたでも気軽にご参加ください。なお、オンライン併用で開催します。リアル参加はメディアコスモスへ、オンライン参加は上記 QR よりご入室ください。

みんなの森 GIFU メディアコスモス「あつまるスタジオ」でお待ちしています！

公表された現庁舎跡地活用 本庁舎は解体し当面広場に 南庁舎はシェアオフィスに

新市庁舎開庁を目前に、市議会３月定例会で示された現庁舎跡地活用策は表題の通り計画が公表されました。有害物質アスベスト使用の本庁舎は今後２年かけて解体、その後は民間活力を導入し当面は広場に、南庁舎はシェアオフィス等の機能を構想すると発表されました。シェアオフィスについては駅再開発ビルでも同様の展開があります。類似機能ゆえ公共投資の意義を改めて注視していきます。

◆「才能開花」教育を推進

市教育長は一連のいじめ事案に区切りをつけ退任する人事が市議3月定例会最終日にありました。故細江市長時代に着任された早川教育長は才能開花教育を推進、科学、工学、数学にリベラル・アーツを加えたSTEAM 教育を推進、プログラミングやタブレットをいち早く導入する一方、不登校特例校の草潤中開校に尽力するなど、岐阜市教育への数々の功績には、私は心からの敬意を表しています。任期途中なだけに続投に期待していましたが、「粋に去る」早川教育長らしい美学でした。後任の水川新教育長にも岐阜市が誇る「才能開花教育」の継続飛躍を要望したいと思います。

早川三根夫教育長が退任

STEAM 教育・才能開花教育の推進により故細江前市長の「教育立市」を具現化されました。

◆ トランジットモール計画

議会で度々取り上げているトランジットモール交通社会実験ですが、新年度予算には計上されていません。これまでの実績を基に、道路形状の変更を伴う本格実施に向け県管理の国道である神田町、県道の金町でどのような展開を予定しているのか、また、道路管理者である国や県とどのような協議を行っていくのかを新年度予算審議で取り上げました。副市長からは関係機関や地元沿線住民の皆さんと意見交換を重ねていくとの答弁がありました。楽市楽座発祥地かつ都心居住を掲げる岐阜市として「歩くことを基本としたまちづくり」の本格化に向け政策提起を続けます。

歩くことを基本とした道づくりへ

道は市、市は道、道の原点回帰を都心の道路から！をコンセプトにトランジットモールを推進します。

◆ 保全すべき「都市農地」

会派でＪＡぎふ本部呼びかけの都市農地に関する勉強会に出席、虫食い状態とも言われる都市農地は、既に都市計画上も防災上も「保全すべき存在」という考え方が閣議決定されています。生産緑地制度（30年の建築規制で農地課税となる都市農地）は、急激な都市化の時代に三大都市圏で導入が進みましたが、岐阜市はその導入には至っていません。都市農地面積の全国２位の我が岐阜市の現状からして、人口減時代の都市創造をライフワークとする中、現状は自助努力で支えられる市内農家の皆さんの考えを伺いながら、改めて制度導入への見識を深めていきたいと思います。

生産緑地制度導入に向け意見交換

人口減を前提に都市計画の見直しが進む中、同制度の導入へ向けて期待の声が高まっています。